

日本看護研究学会中国・四国地方会 ニュース・レター No. 14

2006.9.

第20回学術集会 in 高知

●テーマ 看護実践における地域医療連携

●日時 平成19年3月4日(日)

日本看護研究学会中国・四国地方会事務局

〒700-8558岡山市鹿田町2-5-1

岡山大学医学部保健学科内



運営委員長 深井喜代子(岡山大学医学部保健学科)



ニュース・レター読者の皆様にビッグニュースです。中国・四国地方会では、平成18年度より、会員の皆様の交流と情報交換の場として地方会ホームページを開設致しました。日本看護研究学会の地方会

としてはおそらく一番乗りのホームページだと思えます。こちらの開設にあたっては地方会広報委員会(深田美香委員長)の多大なご尽力がありましたこと、報告させていただくとともに、この場をお借りして委員の皆様に感謝申し上げます。

今年14号を数えるこのニュース・レターとホー

ムページはメディアとしての双方の特徴を生かしながら、会員間の情報交換や交流を深めるための相補的かつ相乗的な機会となると考えています。地方会会員の皆様からの妙案や貴重な情報を、是非事務局宛にお送りください。地域性溢れる画像情報も歓迎します。

ニュース・レターはデスクの壁に貼って親んでくださるよう、また、ホームページはWebからの情報検索の機会に是非訪問してくださるようお願い致します。

第19回学術集会が愛媛で開催されました

第19回学術集会(in 愛媛)

「看護実践におけるエビデンスの確立をめざして」

学術集会実行委員・事務局を担当して

愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻 野本ひさ

3月19日愛媛大学医学部看護学科棟で、第19回学術集会が開催されました。特別講演には菱沼典子先生、交流会には牧本清子先生、佐伯由香先生、中西純子先生をお招きし、看護学の最先端の研究動向を学ぶ機会となりました。また、口演23題、示説17題の演題がよせられ、学会員の皆様の看護研究への関心の高さと、看護の発展に対する意欲を感じました。

前日の懇親会はあいにくの雨天でしたが、会場近くのお洒落な洋館を借り切って、和やかで楽しい交流の場となりました。当日は心配していた雨も止み、県内外から188名もの皆様にご参集いただきました。うち半数が愛媛県外からのご参加で、本学術集会はまさに集いやすく開かれた集会であることを実感いたしました。当日参加も105名あり、予想以上のご参加に各会場はほぼ満杯になりました。また、会場フロアからの白熱した議論に予定時間を若干変更する場面もあり、嬉しい悲鳴でありました。本学術集会を終え、中国・四国全般的看護の発展に尽力できたことを、実行委員一同嬉しく思っております。ご参加いただいた皆様にこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

第19回学術集会に参加して

高知医療センター

細川恵

この度、学術集会にはじめて参加した。研究発表は、教育現場の学術的な研究から、臨床現場の看護実践に基づいた研究と幅広い内容であった。印象に残ったのは、特別公演において確実なケア技術を作り上げていくには、作用機序と臨床効果の2つの根拠を基に、研究者と臨床家とが連携し、臨床効果を明らかにすることが求められているという内容であった。看護研究のレベルを高める取り組みとしての特別セミナーでは、抄録や論文を書くときのルールなどの理解を深めることができ、学びの多い学術集会であった。



平成17年度事業報告

1. 第19回学術集会開催

実行委員長：河野保子氏（愛媛大学医学部看護学科）

日時：平成18年3月19日（日）

場所：愛媛大学医学部看護学科棟

テーマ：看護実践におけるエビデンスの確立
をめざして

演題：40題 参加者：196名（事前申込95名を含む）

2. 平成17年度総会開催

日時：平成18年3月19日（日）11:40～

場所：愛媛大学医学部 第19回学術集会開催時

3. ニュース・レターNo. 13の発行

平成17年9月

4. 委員会活動

1) 運営委員会

(1) 第1回運営委員会会議（平成17年8月19日：岡山）

① 地方会ホームページ開設について
事務局が置かれている機関のサーバを使用
ホームページ管理運用要項の作成
予算は1～3万円

② 第20回学術集会実行委員長の決定
梶本市子氏（高知医療センター）

(2) 第2回運営委員会会議
（平成18年3月18日：愛媛大学）

① 平成17年度事業報告、会計報告
平成18年度事業計画案、予算案等の検討

2) 学術委員会

(1) 第1回委員会を2005年3月に開催

① 学術集会開催地の順番制

② 研究活動推進について

③ 今後、学術集会において優秀な口演・示説
発表を行った人及びグループに表彰を設
けてはどうかという意見があり、継続審議
となった

(2) 第2回委員会を2005年8月に開催

① 第19回学術集会における特別セミナーの
企画・内容を検討

(3) 第3回委員会を2006年3月に開催

① 第21回学術集会開催地の検討

② 研究活動推進の内容

③ 第19回学術集会

特別セミナーの最終打ち合わせ

3) 広報委員会

(1) ニュース・レター編集 9月にNo. 13編集

(2) 地方会ホームページ開設

8月に日本看護研究学会中国・四国地方会
ホームページ管理運用要項を作成
ホームページ原稿を作成し、事務局に提出

ホームページ開設しました

【ホームページ アクセス方法】

岡山大学医学部保健学科のホームページ

→ ■ リンク

→ 一般用 □ 保健学科専任教員が関連する学会・研究会

→ 看護学専攻 □ 日本看護研究学会中国・四国地方会

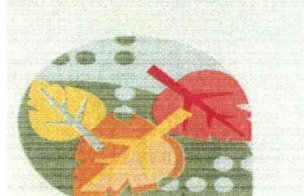
URL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/chushi-h/index.html>



平成17年度会計報告

【収入の部】

項 目	予 算	決 算
前年度繰越金	205,137	205,137
地方会補助金	250,000	250,000
雑収入	3	5
合 計	455,140	455,142



【支出の部】

項 目	予 算	決 算
郵送通信費	80,000	64,440
事務費	50,000	51,678
人件費	20,000	13,000
運営委員会活動費	80,000	72,703
印刷費	20,000	24,255
予備費	20,000	29,000
次年度への繰越金	185,140	200,066
合 計	455,140	455,142

平成18年度事業計画

1. 第20回学術集会開催

実行委員長：梶本市子氏（高知医療センター）
場 所：高知医療センター
日 時：平成19年3月4日（日）

2. 平成18年度総会開催

第20回学術集会開催時（高知医療センター）

3. ニュース・レターNo. 14発行

編集：広報委員会
発行：事務局

4. 委員会活動

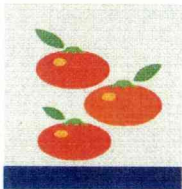
- 1) 運営委員会
第1回：大分
第2回：高知
- 2) 学術委員会
学術集会支援
- 3) 広報委員会
ホームページ更新
ニュース・レター編集



平成18年度予算

【収入の部】

項 目	17年度実績	18年度予算
前年度繰越金	205,137	210,066
地方会補助金	250,000	250,000
雑収入	5	5
合 計	455,142	460,071



【支出の部】

項 目	17年度実績	18年度予算
郵送通信費	64,440	80,000
事務費	51,678	30,000
人件費	13,000	30,000
各種委員会活動費	72,703	80,000
印刷費	24,255	80,000
ホームページ管理費	0	70,000
予備費	29,000	25,000
記念事業等積立金	0	20,000
ホームページ運用積立金	0	20,000
次年度への繰越金	200,066	25,071
合 計	455,142	460,071

お知らせ

【学術委員会】

第19回学術集会において、学術委員会主催の第1回特別セミナー「学会における効果的なプレゼンテーション」が開かれました。お昼休みの時間帯にもかかわらず約70名の参加がありました。会は食事をとりながらなごやかな雰囲気の中で行われました。現在、次回の特別セミナーの企画が進んでいます。委員一同、皆さんから、特別セミナーに参加して良かったと思っただけの内容にしたいと思っております。次回も、皆様方の参加をお待ちしております。また、特別セミナーへのご要望などがありましたら、ご連絡をお願いいたします。（学術委員長：谷垣静子）

【広報委員会】

ニュース・レター14号を皆様にお届けすることができました。学術集会の様子や事業報告、事業計画を会員の皆様にお知らせできるように内容を充実させました。また、ホームページは一般の方にも広く日本看護研究学会中国・四国地方会の活動をお伝えするために内容を更新していきます。ニュース・レター、ホームページについての皆様方からのご意見をお待ちしています。（広報委員長：深田美香）

【事務局】

近畿・北陸地方会との合同地方会から独立し中国・四国地方会となって4年になります。独立に伴い地方会運営に関してプロジェクト会議を重ね平成16年度に運営委員会として発足しました。それぞれの役割、委員会が設置され活動を開始しましたがその活動もほぼ軌道に乗り順調に機能しております。また、会員数も増加傾向にあり頼もしい限りです。年度末に行われる恒例の学術集会は寒い時期にもかかわらず毎年盛会です。参加されたことのない会員の皆様、ぜひ一度体験してみてください。（事務局：池田敏子）



第20回学術集会について(ご案内)

メインテーマ:「看護実践における地域医療連携」

懇親会 : 平成19年3月3日(土曜日) 18:30~20:30

学術集会

日時 : 平成19年3月4日(日曜日) 9:00~15:20

会場 : 高知県・高知市病院企業団立高知医療センター

〒781-8555 高知市池2125-1

一般演題(口演・示説) : 9:20~11:25

第1会場(くろしおホール)、第2会場(2階会議室やいろちよう)

第3会場(2階会議室やなせすぎ)、第4会場(1階研修室)

実演交流会 : 12:30~13:30

(1)「WOC看護師によるオストミーケア」

第2会場(やいろちよう)

高知医療センター WOC認定看護師 片岡 薫 氏

アシスタント看護師2名

(2)「電子カルテシステムを活用した看護実践」 第3会場(やなせすぎ)

高知医療センター 看護科長 弘田 由利美 氏

特別セミナー : 12:30~13:30

テーマ: 未定

日本看護研究学会中国・四国地方会 学術委員会主催

シンポジウム : 13:40~15:10

テーマ:「ケアの継続と質の向上をめざした地域医療連携」

シンポジスト 病院 鳥取大学医学部附属病院 医療福祉支援センター

看護師長 吉村 繁子 氏

地域 医療法人聖愛会 ベテル在宅サービス事業部在宅療養支援センター

地域看護専門看護師 吉田 美由紀 氏

教育 高知女子大学看護学部

助教授 森下 安子 氏

病院見学 : 15:30~16:30

実行委員長より会員の皆様へ

第20回学術集会は、メインテーマを「看護実践における地域医療連携」とし、2007年3月4日(日)に開催いたします。シンポジウムでは「ケアの継続と質の向上をめざした地域医療連携」をテーマに、患者さんを中心に質の高いケアを継続していくための地域連携のあり方について皆様とともに討論したいと準備しております。昨年度好評で

した特別セミナーも行います。また、実演交流会としてWOC看護師による実演交流会と高知医療センターの特徴である統合情報システム(電子カルテシステム)での看護展開を計画いたしました。会場となる高知医療センターは開院2年目を迎えた、全館電子カルテシステムで運用されている最新設備の病院施設ですので、院内見学会も企画しました。早春の四万十川とともに皆様のご参加をこころからお待ちしております。

発行: 日本看護研究学会中国・四国地方会事務局

〒700-8558 岡山市鹿田町2-5-1 岡山大学医学部保健学科内

Tel: 086-235-6857

発行責任者 日本看護研究学会中国・四国地方会運営委員長 深井喜代子

編集責任者 広報委員長 深田美香

